

【科目名】医療英文抄読法		【担当教員】梶浦 麻子						
【授業区分】 教養分野 (外国語)	【授業コード】 1-06-0220-0-1	(メールアドレス) kajiuraasako@yahoo.co.jp						
【開講時期】3 年次 前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)						
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ	授業開講日、非常勤控え室で対応						
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 英語の辞書(電子辞書を含む)を用意しておくこと。できれば医学英語が調べられるものが望ましい。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 英語の辞書を講義日には必ず持参すること。ディスカッション形式を取るので、成否にとらわれずに自分の意見を述べる練習の機会とすること。								
【講義概要】 (目的) 英語で書かれた学術論文に慣れ親しむ。また、英語を医療分野の公用語としてとらえ、将来、英語で書かれた文献を苦手意識なしに手にできる基盤を身につける。 (方法) 解剖学や生理学などの基礎医学用語、医療現場でよく用いられる専門用語、疾患名、医療関係者が用いる略語、薬剤名や検査法/検査機器名、英語で記載されたカルテや報告書に触れる機会を多数設ける。また、学術雑誌に掲載される症例報告や研究論文(臨床研究および基礎研究)を個々の学生の興味や専門分野に合わせて選択し、グループ作業も含めて読みこなす練習をする。								
【一般教育目標(GIO)】 ・英語で書かれた学術論文に慣れ親しみ、将来、英語で書かれた文献を苦手意識なしに読む基盤を身につける。								
【行動目標(SBO)】 ・学術論文の形式を示すことができる。学術論文を読むポイントがわかる。文献リストの意義がわかる。								
【教科書・リザーブドブック】 特になし								
【参考書】 得には指定しないが、興味を持てる領域の英語ジャーナルを図書館等で複数回閲覧すること。								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は、本学学則規定の GPA 制度に従う。単語テスト 25%、発表 50%、読解作業やディスカッションへの参加 10%、宿題及び出席率 15%の割合で総合的に評価を行い、100 点満点で 60 点以上を合格とする。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	25	0	50	0	0	25	100 点
評 取り込む力・知識				20				20

平成 26-28 年度以降入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力				10				10
	コラボレーションとリーダーシップ				5				5
	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢				5				5
【授業日程と内容】									
回数	講義内容				授業の運営方法	学修課題(予習・復習)		時間(分)	
1	オリエンテーション				講義	シラバスの復習と理解		5	
2	学術論文の形式について（投稿規程、著者、抄録、本文、引用文献、図表、謝辞など） リハビリテーション領域の学会・セミナー・ワークショップ案内パンフレットの読解練習				講義	新出単語の復習		20	
3	治療計画書読解練習				講義	治療計画書読解		30	
4	グループ作業（英語論文及び学会等を図書館及びオンラインで探し出す）				講義	図書館でのジャーナル閲覧法復習		30	
5	学会抄録集読解練習				講義	学会抄録集読解復習		30	
6	学会抄録集読解練習				講義	学会抄録集読解復習		30	
7	学会抄録集読解練習				講義	学会抄録集読解復習		30	
8	学会抄録集読解練習				講義	学会抄録集読解復習		30	
9	APA及びAMAスタイルについて				講義	APA 及び AMA スタイルの練習		30	
10	学術雑誌掲載論文の抄読				講義	新出単語及び表現の復習		30	
11	学術雑誌掲載論文の抄読				講義	新出単語及び表現の復習		30	
12	学術雑誌掲載論文の抄読				講義	新出単語及び表現の復習		30	
13	学生が選択したトピックの論文抄読Ⅰ（グループ作業による読解）				講義	発表の準備		60	
14	学生が選択したトピックの論文抄読Ⅱ（グループ作業による読解と内容の発表）				講義	発表の準備		60	

平成 26-28 年度以降入学者用

15	学生が選択したトピックの論文抄読Ⅲ(グループ作業による読解と内容の発表・批評)	講義	発表と批評の準備	60
----	---	----	----------	----

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。